

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 7年 10月 7日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県天理市三島町200番地

氏 名 理事長 増野 正俊

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0743-63-5611

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	公益財団法人 天理よろづ相談所病院
事業場の所在地	奈良県 天理市 三島町 200番地
計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	医療業
②事業の規模	許可病床数 715床
③従業員数	1,924人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染症廃棄物→収集運搬、中間処理、最終処分とも業者に委託。中間処理で焼却後、残渣を最終処分で埋め立て。

(日本産業規格 A列4番)

## (第2面)

## 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

特別管理産業廃棄物管理責任者（臨床検査部部長）  
↓  
医療廃棄物管理委員会 委員長（臨床検査部部長）  
↓  
医療廃棄物管理委員会 委員（管理課長他）  
↓  
各部署廃棄物管理責任者 （各部署長、各病棟師長）

## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】	
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
排 出 量	231.599 t
(これまでに実施した取組)	
現場に行き、分別指導を実施し、排出量を少しでも減らす事を目標に頑張った結果、2%程度削減できた	
【目標】	
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
排 出 量	230 t
(今後実施する予定の取組)	
引き続き様子を見ながら、感染性廃棄物の排出抑制に努めていく。	

## 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物は専用容器に入れ、他と区別して保管している
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物は専用容器に入れ、他と区別して保管する

## (第3面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
特別管理産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
特別管理産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
特別管理産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
特別管理産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組 )		

## (第4面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】	
特別管理産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分を行つた 特別管理産業廃棄物の量	t
t	
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
特別管理産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分を行つた 特別管理産業廃棄物の量	t
t	
(今後実施する予定の取組)	

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 令和 6 年度）実績】	
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
全処理委託量	231.599 t
優良認定処理業者への 処理委託量	t
再生利用業者への 処理委託量	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
(これまでに実施した取組)	

## (第5面)

【目標】	
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
全処理委託量	230 t
優良認定処理業者への 処理委託量	t
再生利用業者への 処理委託量	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
(今後実施する予定の取組)	
【前年度（令和6年度）実績】	
特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	
(今後実施する予定の取組等)	
※事務処理欄	